

名東プレーパークの会

名古屋都市センタースタートアップ助成

R7年度活動報告

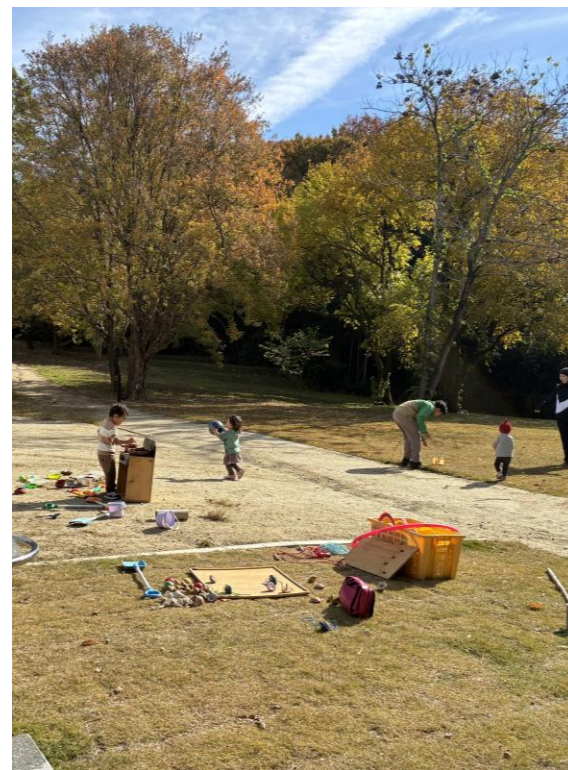
プレーパークとは？

- 泥んこ遊びや木工など、『自分の責任で自分で遊ぶ』をモットーにした遊び場です。子どもたちの主体的な遊びを
- 1970年代に東京都世田谷区から始まり、今では全国600箇所以上に増えています。
- 地域の大人も子どもを見守る「地域の間」としての機能も持っています。



プレーパークとは？

- 泥んこ遊びや木工など、『自分の責任で自分で遊ぶ』をモットーにした遊び場です。
- 1970年代に東京都世田谷区から始まり、今では全国600箇所以上に増えています。
- 地域の大人も子どもを見守る場でもあります。



念願の倉庫を設置しました！

- 東山総合公園管理事務所とも連携しながら、倉庫の設置ができました！お絵描きワークショップも開催し、素敵な倉庫になりました。
- 倉庫設置により、運搬の負担が軽減され、運営の効率化が図れました。



開催エリアを拡大しました！

宮前公園、高針原公園、県営猪子石住宅集会所など、名東区内の複数のエリアで開催し、より多くの親子へプレーパークを届けることができました。



< 宮前公園 >



< 高針原公園 >



< 県営猪子石住宅集会所 >



名東児童館のプレー
パークに協力しまし
た！

名東児童館でプレーパーク事
業がスタート。委託を受け、
開催の協力をしました。



2025年度 活動まとめ

- ・ 開催回数：25日
- ・ 参加のべ人数：大人291人、子ども438人、合計727人
- ・ R7年度は倉庫設置による運営基盤の整備に加え、複数エリアおよび児童館と連携した開催を行うことができました。
- ・ R8年度は地域の特性やニーズを踏まえながら、継続的な開催と、回数の増加を予定しています。
- ・ また、より安定的な運営のため、寄付の仕組みの導入を検討していきます。

